

平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 札

上場会社名 豊平製鋼 株式会社

コード番号 5450 URL <http://www.toyohira.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹田 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 三田 広志

TEL 011-661-2151

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 9,136 | 1.1 | 102 | | 77 | | 248 | |
| 22年3月期第3四半期 | 9,235 | 36.2 | 525 | | 548 | | 446 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 19.23 | |
| 22年3月期第3四半期 | 34.56 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|----------|--|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 23年3月期第3四半期 | 11,798 | | 9,894 | | 83.9 | | 765.19 | |
| 22年3月期 | 12,458 | | 10,242 | | 82.2 | | 792.07 | |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,894百万円 22年3月期 10,242百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 |
| 23年3月期 | | 2.50 | | | |
| 23年3月期 (予想) | | | | | |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

23年3月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,800 | 0.5 | 330 | | 300 | | 470 | | 36.35 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、[添付資料] P. 2「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年3月期3Q | 12,937,000株 | 22年3月期 | 12,937,000株 |
| 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 6,660株 | 22年3月期 | 6,160株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 23年3月期3Q | 12,930,607株 | 22年3月期3Q | 12,931,340株 |

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので、将来の業績に影響を与える不確実な要因については本資料発表日現在における予測を前提としております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記の予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

【添付資料】

添付資料の目次

| | |
|----------------------------|-----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P.2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P.2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P.2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P.2 |
| 2. その他の情報 | P.2 |
| (1) 当四半期における重要な子会社の異動の概要 | P.2 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | P.2 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | P.2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P.3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P.3 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | P.5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P.6 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | P.7 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P.7 |
| (6) 生産、受注及び販売の状況 | P.7 |
| (7) 追加情報 | P.7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策や新興国向けを中心とした輸出の回復等により景気回復の兆しを見せてはいるものの、欧州発の金融不安の顕在化が新たな懸念要因となり、円高・株安が強まり、また雇用情勢や所得の先行き不安から個人消費の回復も重く、依然として先行き不透明な状況で推移しました。道内経済についても一部に持ち直しの動きがありますが、全国的な状況に比べて更に厳しい状況が続いております。

このような経済環境のもと、売上高は91億36百万円(前年同期実績92億35百万円)と若干の減収となりました。また損益面では、販売価格低下及び原料スクラップ価格高騰の影響により、経常損益は77百万円の損失(前年同期実績5億48百万円の利益)、四半期純損益は当該影響に加え、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う税金費用の増加があり、2億48百万円の損失(前年同期実績4億46百万円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、運転資金の支出に伴う現金同等物の取崩し及び減価償却費の実施に伴う有形固定資産の減少等に伴い、前連結会計年度末と比べて6億60百万円減少し、117億98百万円となりました。負債は、買掛金の減少等に伴い、前連結会計年度末と比べて3億12百万円減少し、19億3百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払い等により、前連結会計年度末と比べて3億48百万円減少し、98億94百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本日公表した「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、当社は平成23年2月17日を効力発生日とする株式交換により、JFEスチール株式会社(以下、「JFEスチール」といいます)の完全子会社となる見込みであり、期末配当はJFEスチールに対して支払われることとなります。配当額については、今後、JFEスチールと協議の上決定する予定であり、現段階では未定であります。

2. その他の情報

(1) 当四半期における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準(企業会計基準委員会 平成20年12月26日 企業会計基準第22号)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失()」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 57 | 56 |
| 預け金 | 1,930 | - |
| 受取手形及び売掛金 | 2,760 | 2,789 |
| 製品 | 511 | 826 |
| 半製品 | 187 | 55 |
| 仕掛品 | 1 | - |
| 原材料及び貯蔵品 | 944 | 689 |
| 短期貸付金 | - | 2,170 |
| その他 | 247 | 234 |
| 貸倒引当金 | 4 | 4 |
| 流動資産合計 | 6,636 | 6,817 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,246 | 1,331 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,615 | 2,853 |
| その他(純額) | 1,019 | 1,033 |
| 有形固定資産合計 | 4,882 | 5,218 |
| 無形固定資産 | 2 | 2 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 280 | 423 |
| 貸倒引当金 | 4 | 4 |
| 投資その他の資産合計 | 276 | 419 |
| 固定資産合計 | 5,161 | 5,640 |
| 資産合計 | 11,798 | 12,458 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,069 | 1,299 |
| 未払法人税等 | 7 | 16 |
| 賞与引当金 | 160 | 281 |
| その他の引当金 | - | 8 |
| その他 | 521 | 483 |
| 流動負債合計 | 1,759 | 2,088 |
| 固定負債 | | |
| 引当金 | 143 | 126 |
| その他 | 1 | 1 |
| 固定負債合計 | 144 | 127 |
| 負債合計 | 1,903 | 2,216 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,560 | 1,560 |
| 資本剰余金 | 1,114 | 1,114 |
| 利益剰余金 | 7,189 | 7,534 |
| 自己株式 | 2 | 2 |
| 株主資本合計 | 9,861 | 10,207 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 32 | 34 |
| 評価・換算差額等合計 | 32 | 34 |
| 純資産合計 | 9,894 | 10,242 |
| 負債純資産合計 | 11,798 | 12,458 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高 | 9,235 | 9,136 |
| 売上原価 | 8,297 | 8,891 |
| 売上総利益 | 937 | 245 |
| 販売費及び一般管理費 | 412 | 347 |
| 営業利益又は営業損失() | 525 | 102 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4 |
| 受取配当金 | 3 | 3 |
| 受取賃貸料 | 6 | 6 |
| 回収品等处分益 | - | 9 |
| その他 | 10 | 1 |
| 営業外収益合計 | 24 | 24 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | - |
| 営業外費用合計 | 0 | 0 |
| 経常利益又は経常損失() | 548 | 77 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 6 | 3 |
| たな卸資産関係益 | - | 15 |
| 特別利益合計 | 6 | 18 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2 | 2 |
| 減損損失 | 0 | - |
| 会員権評価損 | 0 | - |
| その他 | 0 | - |
| 特別損失合計 | 3 | 2 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 552 | 61 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3 | 8 |
| 法人税等調整額 | 101 | 177 |
| 法人税等合計 | 105 | 186 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | - | 248 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 446 | 248 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 552 | 61 |
| 減価償却費 | 629 | 538 |
| 減損損失 | 0 | - |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 7 | 121 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 1 | - |
| その他の引当金の増減額(は減少) | 21 | 8 |
| 受取利息及び受取配当金 | 7 | 8 |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 固定資産売却損益(は益) | 6 | 3 |
| たな卸資産関係益 | - | 15 |
| 固定資産除却損 | 2 | 2 |
| 会員権評価損 | 0 | - |
| その他の特別損益(は益) | 0 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 1,088 | 28 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 143 | 45 |
| その他の資産の増減額(は増加) | 14 | 51 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 84 | 229 |
| その他の負債の増減額(は減少) | 12 | 62 |
| 小計 | 255 | 20 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7 | 8 |
| 利息の支払額 | 0 | 0 |
| 法人税等の支払額又は還付額(は支払) | 107 | 12 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 369 | 25 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | 371 | 111 |
| 固定資産の売却による収入 | 8 | 3 |
| 固定資産の除却による支出 | - | 4 |
| その他の支出 | 0 | 0 |
| その他の収入 | 0 | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 363 | 111 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | - | 0 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 34 | 4 |
| 配当金の支払額 | - | 96 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 34 | 101 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | - | - |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 28 | 238 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,508 | 2,226 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,480 | 1,987 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 生産、受注及び販売の状況

セグメントごとの生産、受注、販売実績は、以下のとおりです。

生産実績

| 品 目 | 当第3四半期連結累計期間 |
|---------|--------------|
| 棒 鋼 | 128千ト |
| 橋梁・産業機械 | 1,031百万円 |

(注) 橋梁・産業機械事業は、品種が多様なため、生産実績の数量算出は困難により、当該期間の販売実績を記載しております。

受注実績

| 品 目 | 当第3四半期連結累計期間 |
|---------|--------------|
| 棒 鋼 | 8,000百万円 |
| 橋梁・産業機械 | 836百万円 |

販売実績

| 品 目 | 当第3四半期連結累計期間 |
|---------|--------------|
| 棒 鋼 | 8,105百万円 |
| 橋梁・産業機械 | 1,031百万円 |

(7) 追加情報

当社は、平成22年11月30日開催の取締役会において、JFEスチール株式会社を完全親会社、当社を完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。その後、平成23年1月26日開催の臨時株主総会にて承認を受けております。

なお、株式交換契約の概要につきましては、平成22年11月30日に開示しました「JFEスチール株式会社による豊平製鋼株式会社の株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」をご参照下さい。